

平成17年度宝くじ助成事業成果概要



企画部 副参事 阿部 充

河川は水と緑のオープンスペースとして、うるおいとやすらぎの場、レクリエーションと憩いの場などの役割を担っており、河川空間の種々の機能に対する期待と要請が一層増大している。

そのため、これらの機能を充実させ、良好な水辺空間の形成を図っていくことが益々重要となっており、当センターでは、(財)日本宝くじ協会の支援を受け「水辺空間整備に関する広報活動事業」を昭和62年度より実施している。平成17年度は55,000千円(税抜き)の助成を受け、全国の市町村を対象にした水辺施設の設置及び水辺空間整備に係わる調査研究成果に関する出版物の作成を行った。

1. 水辺施設の設置

水辺施設は、水辺空間の快適性や豊かな自然環境を向上させることを目的に、市町村を対象に公募し、水辺施設選定委員会に諮り選定された6ヶ所に設置した。その内訳は、「アメニティ」の向上に寄与する施設6ヶ所であり、その内容は以下に示すとおりである。

- ・大槌川水系源水川 (岩手県大槌町):水辺観察施設
- ・北上川水系北上川 (宮城県石巻市):あずまや
- ・信濃川水系信濃川 (新潟県分水町):あずまや
- ・利根川水系小野川 (千葉県佐原市):あずまや
- ・長良川水系渡来川 (岐阜県美濃市):水場遺跡復元施設
- ・大金久海岸 (鹿児島県与論町):あずまや

2. 出版物の作成

出版物は、以下の7冊を作成し、国、地方自治体、民間団体等に配布した。

- ①『『川とふれあう』平成16年度「川に学ぶ」活動事例集』
- ②『『川の自然を見つめてみよう』—河川に侵入する外来種—【改訂版】』
- ③『『川の自然を見つめてみよう』—河川の外来種図鑑—』
- ④『川から始まる人づくりまちづくり』
- ⑤『水生昆虫のDNA多型分析技術の河川環境整備への活用』
- ⑥『日本の水郷・水都』
- ⑦『清溪川復元 ソウル市民葛藤の物語』

平成18年度も引き続き宝くじ協会の支援を受け、本事業を実施する予定である。水辺施設は、今年の12月から1月にかけて募集し、2月に選定委員会に

諮り、その結果、山形県酒田市、栃木県那須塩原市、千葉県鋸南町、愛知県清州市、福井県若狭町、兵庫県朝来市、鹿児島県鹿児島市の計7箇所が選定された。応募にご協力いただいた市町村に対し、感謝申し上げます。



大槌川水系源水川
(岩手県大槌町)



北上川水系北上川
(宮城県石巻市)



信濃川水系信濃川
(新潟県分水町)



利根川水系小野川
(千葉県佐原市)



長良川水系渡来川
(岐阜県美濃市)



大金久海岸
(鹿児島県与論町)